



夕刊

津山朝日新聞社
岡山県津山市田町13
電話0868-22-3135

新規卒予定者に雇用の場を

津山広域
事務組合

確保へ協力を要請 職安、高校など 4団体と連携 市内の企業訪問

厳しい雇用情勢のなか、新規卒予定者の雇用の場を確保しようと、津山広域事務組合は津山職安など関係団体と連携し4日、津山市内の3企業を訪問、

協力を要請した。津山農協、津山信用金庫、津山ガスを訪問したのは、同組合管理者の宮地昭範市長、中川秀樹同職安所長、松田欣也津山地区雇用開

発協会長、池田芳徳県高校長協会美作支部長の4人。

津山信金では、粉川禎之理事長と小林茂樹専務理事らが対応。宮地市長が「明日を担う若者が就職できないことは本人が希望ややる気を失つのはもったいない。地域にとっても大きな損失。趣旨を理解のうえ、協力を」と粉川理事長に要請文を手渡した。

を通知していても際になって来てもらえないことがある。約束を守るよう学校や職安を通じて啓蒙(もう)してもらいたい」などと話した。

業を訪問する。今春卒業予定の県内大学生の就職内定率は昨年12月末現在58・9%(前年同期比2・2%減)、県内高校生は同84・3%(同5・2%増)。宮地市長と中川所長は昨年末、津山商工会議所に浮田佐平会頭を訪ね、「多くの会員へ周知を」と同様の要請をしている。



引き続き、中川所長が在学生対象の今月1日から本年度内に限った採用拡大奨励金(緊急措置)の説明を交え就職内定状況を説明した。粉川理事長は「内定粉川理事長に要請文を手渡す宮地市長